

次回発行日は平成27年5月28日（木）です。

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

第306号の内容は次のとおりです。

◆ 目次

1 現場レポート

・肥薩おれんじ鉄道水俣駅舎改修記念式典～水俣駅周辺地域の活性化への期待を込めて～

・鹿児島市交通局 局舎・電車施設完成記念式典～100年をこえる歴史に新たな1ページ～

・「宮崎みなとまつり2015」に参加しました！～クルーズ客船の情報をPR～

2 お知らせ

・春の全国交通安全運動実施中(5/11～5/20)

・平成27年度「国土と交通に関する図画コンクール」作品を募集します

3 イベント情報

・長崎・熊本でポートショー開催

4 九州運輸局ホームページアップ情報（4月30日～5月13日掲載分）

1 現場レポート

◆肥薩おれんじ鉄道水俣駅舎改修記念式典

～水俣駅周辺地域の活性化への期待を込めて～

4月29日(水)、肥薩おれんじ鉄道水俣駅舎改修の記念式典が行われました。

出席者は、水俣市をはじめ、国、熊本県、国会議員、各種団体、工事関係者等、約100名で、当運輸局から竹田局長が出席しました。

水俣駅がある熊本県と鹿児島県にまたがる九州本土と天草諸島に囲まれた不知火海沿岸は、水俣病の発生地域です。今回の水俣駅改修は、水俣病発生地域の振興・雇用の確保等を目的として、平成24年度から環境省において創設された「環境首都水俣創造事業」の補助事業により改修されたもので、阿久根駅（鹿児島県）に続き二例目になります。

駅舎は、九州新幹線「つばめ」やJR九州のクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」をデザインした工業デザイナー、水戸岡鋭治氏によるものです。外観は土塀をイメージした明るいベージュを基調に、舎内は木材をメインとして落ち着いたゆったりした作りになっており、高齢者や障がい者の方々が利用しやすいようにバリアフリー化され、カフェも併設されています。待合室には、水俣の伝統工芸品「いわし籠」（高さ2m）の特注品が設置され、子供達の遊び場になります（「いわし籠」は、鯉魚の餌となる鰯を漁船の両側に取付け、鰯を生きたまま運ぶための籠）。

式典は、水俣駅横の水俣市ふれあい館において、少し暑いぐらいの気候の中、主催者挨拶、来賓挨拶、テープカットと粛々と執り行われました。式典会場の隣では、地元幼稚園児の太鼓演奏や婦人会が餅つきを行い、ぜんざいにして駅利用者や見学

の方々に振る舞うなど、市民あげての式典となりました。

肥薩おれんじ鉄道は、平成16年3月の九州新幹線鹿児島ルート（新八代～鹿児島中央）部分開業の際に、JR九州より分離設立された第三セクターの鉄道事業者です。開業以来、沿線人口の減少等により利用者は年々減少しており、経営は厳しい状況にあります。当該駅の改修が駅周辺地域の活性化に繋がるよう期待されており、今後、肥薩おれんじ鉄道の利用者増を図る取組が重要になってくると思われま

九州運輸局としても、利用者増に繋がる取組や安全に係る施設設備等について、今後も協力、支援して参ります。皆様も熊本、鹿児島に行かれる際は、ぜひ肥薩おれんじ鉄道を利用して、ゆっくりとした旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。

※記念式典当日の様子は、次のURLからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_306_1.pdf

（鉄道部計画課）

◆鹿児島市交通局 局舎・電車施設完成記念式典

～100年をこえる歴史に新たな1ページ～

5月1日、鹿児島市交通局 局舎・電車施設完成記念式典が行われました。およそ80名の出席者は、国、鹿児島市、地元住民代表、工事関係者などで、九州運輸局からは前本鉄道部長が出席しました。

鹿児島市交通局は、2系統で総延長15km、年間1千万人以上をはこぶ市民に親しまれている軌道です。鹿児島を訪れた事がある方はお気づきになったと思いますが、市内の軌道敷内のあざやかな緑色の芝生が目にとまります。これは、鹿児島市が緑豊かで快適な環境作りを進めるため平成18年度から実施している取り組みです。軌道敷緑化は道路との併用軌道区間全線の8.9kmに及び、約35,000㎡の緑のじゅうたんとなって、ヒートアイランド現象の緩和や沿線騒音の低減、都市景観の向上、潤いと安らぎの空間の創出に大きく寄与し、鹿児島市を象徴する新しい街の風景となっています。

交通局の電車基地はこのたび、上荒田町の新施設へ移転しましたが、これまでの高麗町の施設を惜しむ声も少なくないと聞きます。高麗町の施設は鹿児島市で電車が走り始めた大正元年（1912年）から車両基地として設置されました。のちの鹿児島市交通局もこの地を受け継ぎ、移転するまでここを拠点としてきました。高麗町の施設は、石造りの変電所、木造瓦葺きの局舎など時間が止まったような空間でした。なお、この石造りの変電所は局舎移転と同時に一旦解体され、心臓部を最新鋭に更新し再び生まれ、同じ高麗町に今の面影を残す予定です。

上荒田町の新施設は、局舎3階に資料展示室が設置されています。ここには、歴史ある車両の運転台やパンタグラフ、タブレットなど鉄道マニア垂涎の品々が展示されています。

また、この資料展示室の構内側は全面ガラス張りで電車基地内全てがご覧いただけますし、桜島も展望できます。さらに車両基地内には整備工場や変電所の見学コースや、電車の試運転線が設置され、広く市民の皆様に電車に親しんでもらうための施設になっております。今後、見学や運転体験、交通局の仕事体験などの催しが計画される予定です。

式典当日は南国の初夏を思わせる好天のなか、電車基地内の引き込み線で鹿児島市長と地域の子供たちのテープカットで電車の出発を見送った後、開所式が執り行われました。開所式の後、鹿児島市長による試運転線での運転体験や完成記念式典が行われ、テレビの情報番組の生中継が入るなど、マスコミからも注目されました。

九州運輸局といたしましては、今後も軌道の安全運行と利用者の増加などについて、引き続き支援して参ります。

桜島の噴火が続いていますが、鹿児島は元気です。皆様もレトロな電車や近未来的で人にやさしいLRVで鹿児島の旅を楽しんでみませんか。

※記念式典当日の様子は、次のURLからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_306_2.pdf

(鉄道部計画課)

◆「宮崎みなとまつり2015」に参加しました！

～クルーズ客船の情報をPR～

宮崎市（宮崎みなとまつり実行委員会）では、毎年5月5日の「こどもの日」に「宮崎港」を市民や県外の皆様に広くPRし、「宮崎港」の利用促進と観光客の誘致につなげることを目的として、「宮崎みなとまつり」を開催しています。

今年の「宮崎みなとまつり2015」は、宮崎港の国際観光船バースを会場にして、深海潜水調査船「支援母船よこすか」「有人潜水調査船しんかい6500」の一般公開をはじめ、宮崎カーフェリーの体験イベント（体験航海）、国や自治体による「テーマ館」の他、「食」と「子ども」を対象とした「美味Sea Food」バトルや「アンパンマンショー」など、数多くのイベントが行われました。

宮崎運輸支局では、「クルーズ客船」の素晴らしさを市民や県外の皆様に知って頂くことを主な目的として「テーマ館」に出展しました。

テーマ館では、「九州クルーズ振興協議会」から取り寄せたクルーズ船（飛鳥Ⅱ、ぱしふいっくびいなす、NIPPON MARU）のポスターを掲示し、各船社のパンフレットその他、国内の物流に「内航海運」が果たしている役割を理解して頂くため、日本海運組合総連合会発行の「子ども用」パンフレット（まんが「これが内航海運だ！」、船ってサイコー）等や、小型船舶の操縦に関するパンフレットを配布しました。

当日の天候は、風が少し強かったものの快晴で、ゴールデンウィーク中ということもあり、4万人が来場され、特に県内での公開は初めてとなる「有人潜水調査船しんかい6500」の一般公開には4,456人が訪れ、海底のフロンティアを探る技術を体験しました。

宮崎運輸支局の「テーマ館」では、用意したクルーズ船（飛鳥Ⅱ、ぱしふいっくびいなす、NIPPON MARU）のパンフレットが午前中で配布を終了してしまうなど、市民や県外の皆様がクルーズ客船に強い関心を持っていることを実感しました。今後も、イベント開催時に併せて、クルーズ客船の振興や、内航海運の役割をアピールするなど海事思想の普及に努め、次代を担う船員の確保・育成に繋がるよう支援してまいります。

※1. 九州クルーズ振興協議会とは

九州全体の地域振興に寄与することを目的として、九州の行政機関や自治体、関係団体等により設立され、クルーズ客船及び外国人観光客の誘致活動等に取り組んでいます。

※2. 内航海運組合総連合会とは

内航海運組合法に基づき国土交通省（旧運輸省）より設立認可された内航海運事業者の団体で内航海運業の経営の安定と地位の向上を目的とした諸施策を推進しています。

※当日の様子は、次のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_306_3.pdf

（宮崎運輸支局海事部門）

2 お知らせ

◆春の全国交通安全運動実施中(5/11～5/20)

～5月20日は「交通事故死ゼロを目指す日」です～

平成27年春の全国交通安全運動が5月11日（月）から始まりました。九州運輸局でも関係機関・団体と連携し積極的に推進を図っているところですが、九州各地で交通事故が相次いでいるようです。

今年の運動は「子供と高齢者の交通事故防止」を基本とするほか、「自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用五則の周知徹底）」「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」「飲酒運転の根絶」を重点としています。

※ご自分が、ご家族が自転車を利用される方も多いと思います。警察庁のHPに「自転車安全利用五則」が掲載されています。今一度ご確認ください。

http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kotu/bicycle/five_rule.htm

「自転車安全利用五則」

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

また、運動の最終日5月20日（水）は「交通事故死ゼロを目指す日」です。わたしたち一人一人が、交通ルールを守り、交通マナーを実践するなど交通事故に注意して行動することによって、交通事故を無くしましょう。

◆平成27年度「国土と交通に関する図画コンクール」作品を募集します

国土交通省では、人々の生き生きとした暮らしを支え、安全・安心で豊かな経済社会を実現するための国土交通省の様々な取組について、明日を担う子供たちに理解を深めていただくきっかけとなることを期待し、毎年度、小学生を対象とした「国

土と交通に関する図画コンクール」を実施しており、平成27年度も作品を募集しております。

詳しくは下記リンクをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/page/h27zugacon_boshu.html

———— 3 イベント情報 ————

◆長崎・熊本でポートショー開催

いよいよ本格的なマリンシーズンの到来です。ポートショーでは、様々なイベントが満載です。ご家族で、カップルで、仲間同士で、遊びに来ませんか？

○2015長崎マリンフェスタ

日時：5月16日（土）～5月17日（日）＜午前10時～午後5時＞

場所：長崎市福田本町1892番地 長崎サンセットマリーナ特設会場

○2015熊本ポートショー

日時：5月23日（土）～5月24日（日）＜午前10時～午後5時＞

場所：熊本市西区新港1丁目地内 熊本新港特設会場

詳しくは、九州ポートショーHPをご覧ください。

<http://www.marine-festa.com/>

☆九州運輸局は「2015長崎マリンフェスタ」「2015熊本ポートショー」を後援しています。

———— 4 九州運輸局ホームページアップ情報 ————

（4月30日～5月13日掲載分）

--- 報道発表 ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- お知らせ ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- 各種情報 ---

《入札・契約情報》

◆企画競争実施公示

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

◆物品役務入札公示

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

《九州統計情報》

◆自動車登録・整備関連（自動車保有車両数・新規登録自動車数・燃料別等自動車保有台数（平成27年3月））

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/body2.htm>

《行政処分情報》

◆一般貨物自動車運送事業の累積違反点数が20点を超える事業者の公表（平成27年3月末現在）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu26cho.htm>

--- 各種手続き ---

《海技試験制度・合格発表》

- ◆海技免状等の国家試験（2級海技士（航海、機関）筆記試験合格発表・科目合格発表並びに口述試験日程発表、内燃機関6級海技士（機関）合格発表、7月定期試験口述試験の日割り決定）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

--- 分野別情報-----

《公共交通活性化》

- ◆九州管内における公共交通分野と福祉分野の適切な役割分担のあり方等検討業務報告書（H27.3）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file31/201504kotsukikakuka.pdf>

《物流》

- ◆九州の物流（2015年版）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file03/file03_31_2015buturyu.pdf

《バス・タクシー・トラック》

- ◆バス（バスの申請・処分状況 平成27年4月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/bus_syobun2704-.pdf

- ◆タクシー（タクシーの申請公示状況 平成27年5月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/taxi_kouji.htm

- ◆タクシー（タクシーの申請・処分状況 平成27年4月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/taxi_syobun.htm

- ◆トラック（トラックの申請・処分状況 平成27年4月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/truck_syobun2704.pdf

《海事》

- ◆定期報告（運航実績等報告）について（運航（輸送）実績報告書様式1, 3, 4, 5号）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaiji/file11.htm>

--- おすすめ情報-----

《バス・タクシー・トラック関係》

- ◆特定地域の指定に関する協議会の開催予定表

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13/index-osusume-270407.pdf

//////// 編集部より //////////////////////////////////////////

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////////

- 本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

- 本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
